

令和2年度教育研究業績書

氏名 小林 青樹

最終学歴	國學院大學大学院文学研究科博士課程後期満期単位取得退学	
取得学位	博士(文学)	
所属学会	日本考古学協会、考古学研究会、日本文化財科学会、東南アジア考古学会、日本中国考古学会、東アジア鑄造史学会、日本博物館学会	
専門分野	考古学	
研究課題	東アジア世界と縄文文化・弥生文化	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財演習Ⅱ(二) ・考古学講読(一) ・考古学講読(二) ・考古学実習Ⅱ ・考古学実習Ⅳ ・考古学特殊講義(二) ・考古学特殊講義(三) ・考古学演習Ⅰ(三) ・考古学演習Ⅱ(三) ・考古学演習Ⅲ(三) ・考古学演習Ⅳ(三)
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・考古学演習Ⅲ ・考古学演習Ⅳ ・考古学特殊講義Ⅲ ・考古学特殊講義Ⅳ
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	・考古学演習Ⅱ
【研究上の特記事項】	科学研究費補助金基盤研究(C)「秦漢以前に弥生文化に渡来した中国中原系絹織物の研究」(研究代表者:小林青樹)、挑戦的研究(開拓)「先端技術による未発見遺跡の探査・研究および保護手法の開発」(研究分担者)の実施。	
【教育上の特記事項】		
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿地区考古学大学連絡協議会事務局。 ・考古学研究会常任委員総務・全国委員会・関西例会委員。 ・富岡市中高瀬観音山遺跡史跡整備委員会副委員長 ・印西市史編さん委員会委員 	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高校生歴史フォーラム委員 ・総合研究所運営委員 	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①倭人の祭祀考古学	単著	2017年8月	新泉社	弥生時代を中心に、倭人の祭祀について縄文系・大陸系の祭祀の系統を整理検討した。
②弥生文化の起源と東アジア金属器文化	単著	2019年3月	塙書房	弥生文化の起源について、青銅器・鉄器から東アジアにおける様相を検討した。
③『21世紀の博物館学・考古学』	共著	2021年3月	雄山閣	弥生時代の土器絵画に表現された巫女と古墳時代の埴輪の巫女の関係について検討した。
(学術論文)				
①栃木県栃木市中根八幡遺跡第4次調査概要報告	共著	2019年3月	文化財学報、奈良大学文化財学科	2018年度夏季に実施した栃木県栃木市中根八幡遺跡第4次発掘調査概要に関する報告。
②栃木県栃木市中根八幡遺跡第5次調査概要報告	共著	2020年3月	文化財学報、奈良大学文化財学科	2019年度夏季に実施した栃木県栃木市中根八幡遺跡第5次発掘調査概要に関する報告。
③栃木県栃木市中根八幡遺跡第6次調査概要報告	共著	2021年3月	文化財学報、奈良大学文化財学科	2020年度夏季に実施した栃木県栃木市中根八幡遺跡の分布調査の概要に関する報告。
④栃木市中根八幡遺跡を通じた考古学教育実践モデルの構築	共著	2021年3月	奈良大学紀要、奈良大学	栃木市中根八幡遺跡での考古学実習を通じて考古学の専門職養成教育の実践モデルの構築について検討した。
(学会発表)				
①環状盛土遺構の形成プロセス—栃木市中根八幡遺跡第3次調査の成果—	共著	2018年4月	考古学研究会第64回総会	2017年夏季に実施した栃木県栃木市中根八幡遺跡第3次発掘調査概要と、盛土の形成に関する報告。
②栃木県中根八幡遺跡出土土器の胎土分析	共著	2018年5月	日本考古学協会2018年度総会研究発表会	2017年夏季に実施した栃木県栃木市中根八幡遺跡第3次発掘調査で出土した土器の胎土分析の結果報告。
③桜井市三輪山における古墳時代祭祀の画期	共著	2019年4月	考古学研究会第65回総会	桜井市三輪山で出土した遺物のうち須恵器の分析結果の報告を行った。
④環状盛土遺構の形成と終焉—栃木市中根八幡遺跡の研究4—	共著	2019年5月	日本考古学協会2019年度総会研究発表会	2018年夏季に実施した栃木県栃木市中根八幡遺跡第5次発掘調査について報告。
⑤環状盛土遺構』中に累積する遺構群—栃木市中根八幡遺跡の研究5—	共著	2020年5月	日本考古学協会2020年度総会研究発表会	2019年夏季に実施した栃木県栃木市中根八幡遺跡第5次発掘調査について報告。